

日台高校生 親睦深める

姉妹校・新社高級中学 伊予農高へ

授業や昼食 学校生活体験

伊予市下吾川の伊予農業高校で12日、姉妹校の新社高級中学（台湾・台中市）の生徒3人と教員2人を迎えた交流会があった。セレモニーや授業体験を通し、言葉や文化の壁を越えた親睦を深めた。



授業体験の後、スマートフォンで記念撮影する
新社高級中学と伊予農高の生徒

1930年、日本統治下の台湾で、増水した川から教え子を助けようとして殉職した伊予実業学校（現伊予農高）1期生の教員山岡栄さんをはじめ、新社高級中学では毎年慰霊祭が開かれている。両校は2018年に姉妹校提携を締結。新型コロナウイルス禍はオンラインでのやりとりを重ね、対面での交流は伊予農高が修学旅行で台湾を訪れた23年以來となった。

歓迎セレモニーでは全校生徒約620人を前に、新社高級中学3年張愛鈴さん（18）が「国が違っても、人を思いやる気持ちは国境を越えろ」と山岡先生から学んでいる。皆さんとの出会いがとても大切」と日本語でスピーチ。全員で山岡さんの慰霊祭で毎年歌う「ふるさと」を合唱した。一行は環境開発科の授業に参加し、ミニチュア版の石積み体験。頭を高くして小さな石で固定する、横から見たときに真っすぐにするなどのポイントを教わり、英語やスマートフォンなどの翻訳機能を使って積極的に質問。日本の生徒から褒められると笑顔が広がり、和やかに交流していた。昼食は伊予農高生の日常に触れようと、購買

環境開発科の授業に参加し、石積み体験する新社高級中学の生徒（中央）



環境開発科の授業に参加し、石積み体験する新社高級中学の生徒（中央）

（石川美咲）